

総括部会報告

基本構想諮問案について審議を行ったので、次のとおり報告する。

1 開催状況

第1回総括部会 4月28日(金) 18:00～20:00

第2回総括部会 5月19日(金) 18:00～20:00

第3回総括部会 5月29日(月) 18:00～20:00

2 審議の進め方

4月20日に開催された第2回審議会全体会、さらに会議終了後メールにより、全委員から47件の意見が寄せられた。審議の過程では、それらを全て対象とした上で、各総括部会の専門的な見地から議論を深め、諮問案に対する総括部会としての意見及び修正案を取りまとめた。

3 総括部会での主な意見

- ・市民との協働によるまちづくりを進める上で指針となる総合計画は、市民に分かりやすい計画とする必要がある。
- ・那覇市がこれまで強く発信してきた「平和への想い」を第5次総合計画においても基本構想にしっかりと位置づけるべきである。
- ・国際性豊かな万国津梁のまちを標榜するからには、近年増加傾向にある外国籍の来訪者、滞在者への視点も考慮する必要がある。
- ・市民提案を基にした「まちづくりの将来像」の表現については、那覇市の方向性を明示したものであり適当であるとする。
- ・市民から提案された「小さな『わ』を大きな『WA』につなげる」ことや「近助」という言葉は、まちづくりに寄せる市民の想いが込められており、大切なキーワードとなると考える。
- ・子どもや文化の分野は、それぞれが独立して柱となるほど重要な分野である。
- ・子どもが主体性を持って健やかに成長することに重点を置くべきである。
- ・那覇が率先して取り組んできたしまくとうばの普及に積極的に言及すべきである。
- ・リゾートとビジネスが融合する都市としての発展を考える必要がある。
- ・産業を支える生活者の視点から労働環境を整える必要がある。
- ・住みよいまちや来訪者にとって魅力的なまちにするためには、景観づくりの重要性を認識する必要がある。
- ・比喩表現としての「仕次ぎ」は、良いと考えるが、「仕次ぎ」が分からない人もいると考えられるため、丁寧な説明が必要である。

4 基本構想総括部会案

別紙 基本構想(総括部会)のとおりに